

2024年5月27日
京都府福知山市出水期に備えて、要支援者の避難訓練 **初**実施 in 大江町

日時 2024年6月1日(土) 9:00～ 場所 五十鈴荘(福祉避難所)ほか

京都府福知山市では、災害の際に避難支援が必要となる障害のある人や高齢で介護が必要な人を対象に、市の防災・福祉部局とケアマネジャーなど福祉専門職が連携して災害時ケアプラン(個別避難計画)の作成を進めています。

出水期を迎えるにあたり、昨年8月の台風第7号で被害が大きかった大江町にお住まいの人を対象に複数の関係機関が連携のもと災害時ケアプラン(個別避難計画)に基づいた避難訓練を福知山市として初めて実施します。

<災害時ケアプラン(個別避難計画)とは、...>

- ・災害の際に自力での避難が困難な方のうち、家族等の避難支援が得られない方や家族、地域の支援では避難が困難な方に対し、個人の具体的な避難支援方法を定めた計画のことをいいます。
- ・令和3年5月に災害対策基本法が改正され、計画作成が市町村の努力義務化となりました。本市においては、要支援者の災害時ケアプランの作成を令和2年度からモデル実施を開始し、令和5年度より本格実施させ、災害リスクや心身の機能レベル等を考慮し、市の福祉、防災部局とケアマネジャー等福祉専門職とが連携し、地区ごとに計画作成に取り組んでいます。

災害時ケアプランのイメージ

- ・避難のタイミング
警戒レベル3高齢者等避難
- ・避難方法
①福祉車両で福祉避難所へ
②自宅の2階へ垂直避難
- ・支援が必要な理由
足が不自由で車いすを使用
- ・避難所での支援内容
移動時には見守りが必要
- ・緊急連絡先
妻:090-0000-0000

訓練概要

<訓練日時>

令和6年6月1日(土)午前9時～12時まで

※ただし、大雨などの影響により訓練を中止する場合があります。

<避難訓練対象世帯、人数>

14世帯32名(当事者15名、家族17名)

(内訳)

避難場所	世帯、人数
五十鈴荘	6世帯14名
金屋ふれあいセンター	3世帯7名
自宅での安全確保	5世帯11名
合計	14世帯32名

<状況想定>

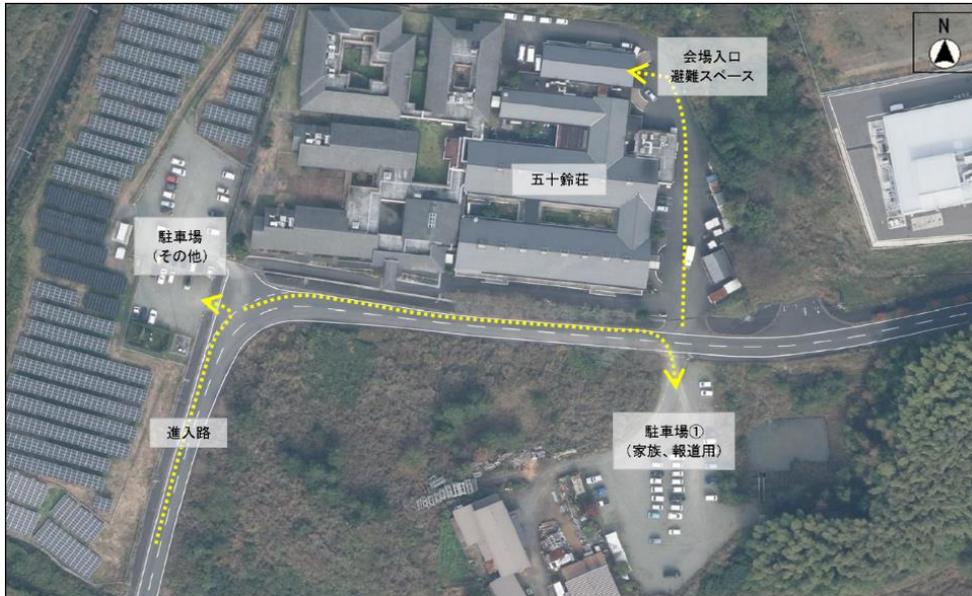
梅雨前線の停滞に伴う広範囲かつ長期間に及ぶ大雨が予測される中、市は警戒レベル3「高齢者等避難」を発令し、全広域避難所を開設するとともに、福祉避難所に開設要請を行い、災害時ケアプランに基づく早めの避難行動を実施します。

<訓練場所>

- ・福祉避難所:特別養護老人ホーム五十鈴荘(大江町二俣 1607)
- ・広域避難所:金屋ふれあいセンター福祉避難スペース(大江町金屋 1229-1)
- ・屋内での安全確保:自宅2階や山と反対側への避難など

<訓練会場図>

福祉避難所:特別養護老人ホーム五十鈴荘



広域避難所:金屋ふれあいセンター



<訓練参加機関>

- ・福祉施設、福祉事業所
特別養護老人ホーム五十鈴荘、大江在宅介護支援センター、訪問看護ステーションおおえ、ケアプランセンターかなや3丁目、地域生活支援センターふきのとう、生活サポートセンターとも
- ・地域
自治会長、民生児童委員
- ・本業務の委託、協力団体
移送サポート:シェア福知山会議、大江まちづくり住民協議会
避難生活サポート:福知山市社会福祉協議会

- ・大学
福知山公立大学 地域防災研究センター、地域経営学部の教員、学生
- ・福知山市
地域包括ケア推進課、障害者福祉課、危機管理室、大江支所
※金屋ふれあいセンターには、避難所派遣職員及び保健師を配置

<タイムスケジュール>

訓練時間	訓練項目	訓練内容	訓練場所
9:00～ 9:30	情報伝達	・避難所開設連絡 ・福祉専門職に要支援者の在宅確認 ・要支援者、家族への避難開始連絡 ・移送・避難生活サポーターへの出動指示	市役所等
9:30～ 10:00	避難所移送 避難所開設	・要支援者は非常持出品等の避難準備 ・移送サポーター出動 ・要支援者を福祉車両で避難所へ移送 ・本人、家族より避難する旨を地域に連絡 ・避難所開設、設営	各自宅
10:00～ 10:30	避難所受入	・要支援者が現場到着後、避難所での受付 ・受付終了後、避難状況の把握と市に報告	各避難所
10:30～ 11:30	避難所運営	・避難所環境(ベッド、トイレ等)確認 ・非常持出品の確認 ・要支援者の避難生活支援 ・非常食の紹介と試食	
11:30～ 12:00	訓練総括 避難所閉鎖 自宅へ移送	・訓練講評 ・要支援者を福祉車両で自宅へ移送 ・避難所閉鎖、片付け ・訓練終了	各避難所、各自宅

<避難訓練イメージ図>



<その他>

- ・訓練終了後、参加者を対象としたアンケートを実施します。
- ・アンケート集計後、関係者により振り返り会議を開催します。
- ・会議結果を踏まえ、次回以降の訓練、災害時の運用に反映します。

(参考) 2023 年台風第 7 号時の避難状況と課題

昨年 8 月の台風第 7 号において、令和 4 年度モデル実施を行った大江町において、ケアマネジャー等福祉専門職と連携し、当事者、家族と避難の調整を行い、プラン作成者の 80% が避難を実行され、一定の成果があったものの、移送車両、移送支援できる人材がいないこと、避難する場所はあるが、避難生活を支援する人材がいないなどの課題を残しました。

<昨年 8 月の台風第 7 号での災害時ケアプランに基づく避難実績>

避難状況	避難者数	避難状況など
緊急ショートステイ	4	福祉専門職の手配により
避難所への避難	2	広域避難所福祉避難スペース
自宅での安全確保	6	自宅 2 階への垂直避難、山とは反対側への避難
避難未実施	3	体調不良で避難困難、家族不在で身動き取れず、自宅で様子を見る
その他	1	入院

今回の訓練では、台風第 7 号の対応で課題となった内容について、福祉避難所である五十鈴荘に福祉車両を借用し、また、今年度より新たに要支援者を避難所まで送迎する移送サポーターの養成を委託しているシェア福知山会議、また避難所での見守り支援を行う避難生活サポーターの養成を委託している福知山市社会福祉協議会と連携し、災害時ケアプランの実効性、実現性を検証するものです。

【本件に関するお問い合わせ】

福知山市役所 福祉保健部 災害時ケアプラン推進係 担当：高橋、松田
TEL：0773-48-9258 FAX：0773-22-9073 E-mail：kikikanri@city.fukuchiyama.lg.jp